

社会福祉専攻：4年次編入学生 カリキュラム(2023年10月以降入学)

2023年度版

卒業に必要な修得単位数

学科科目(必修) 40単位以上

学士を取得するだけの場合は、**学科科目34単位**の修得で卒業可能(要事前卒業申請)

区分	必修	選択	合計
共通科目	—	—	—
学科科目	40単位	—	40単位
合計	40単位	—	40単位

- 1年間以上の在学期間と、卒業に必要な修得単位数(**必修40単位**)を満たしている場合には、年度末(3月)で自動的に卒業となります。
学位(学士)の取得のみを目指す場合には、1年間以上の在学期間と、**学科科目34単位**を修得し、事前申請により3月または9月に卒業することができます。
- 各年度に履修できる単位数は、**64単位を上限**とします(再履修科目を除く)。
- 「心理・仏教学系科目」から履修できる単位数は、**8単位を上限**とします。
- 認定心理士資格申請のためには、「認定心理士科目」から36単位以上の修得が必要です。**
資格申請を目指す場合は、必ず「**通信教育部ガイド:取得できる資格**」にて必要な科目をご確認ください。
- 個別認定単位**は、卒業所要単位数に算入されません。
- 相談援助業務の実務経験による履修免除科目(選択11単位)**は卒業所要単位数には含まれません。
また、「ソーシャルワーク演習1~3」を修得しなければ社会福祉士受験資格は取得できませんので、ご注意ください。
- 自己育成能力開発科目**は、対応する社会福祉系科目(社会福祉士指定科目)を修得した方のみ履修できます(同年度履修可能)。
- 社会福祉士受験資格を取得**するには、科目名欄にある●(必修40単位)と○(選択29単位)の**合計69単位**の修得もしくは免除が必要です。
○の科目は、修得しなくても卒業所要単位数を満たせば自動的に卒業となりますが、**卒業後に科目等履修生として履修することはできません**のでご注意ください。

→ **社会福祉士の受験資格などについては「通信教育部ガイド:取得できる資格」をご確認ください。**

開講年次 4年★:春入学者は2年目以降に履修可能、秋入学者は入学半年後に履修可能です。
(入学前に「社会福祉士」指定科目を修得済で、単位認定された場合は、認定された科目に応じて一部科目を初年度から開講します。詳細は「通信教育部ガイド」P54「04.単位認定」をご参照ください。)

学習方法 S:スクーリング科目 T:テスト科目 R:レポート科目 TR:テスト・レポート科目
SR:スクーリング・レポート科目 ST:スクーリング・テスト科目 STR:スクーリング・テストレポート科目

科目名 ●:「社会福祉士」指定科目かつ学科科目(**必修40単位**) ○:「社会福祉士」指定科目かつ学科科目(**選択29単位**)
介:「介護福祉士」有資格者(2011年までに取得)の認定科目(**必修10単位**)
免1:「介護福祉士」「精神保健福祉士」履修免除科目(**選択1単位**)※8 免2:相談援助業務の実務経験による履修免除科目(**選択11単位**)

単位数 ()内の数字は、その科目で修得できる**スクーリング単位数**です。
スクーリング コマ数、日数および受講料は予定のため、変更(休講含む)になる場合があります。

2023年8月時点の予定であり、変更になる場合があります。

開講年次	科目区分	科目名	学習方法	単位数		スクーリング(予定)			メディア授業	備考	
				必修	選択	コマ数	日数	受講料			受講料
学科科目											
4年	基礎科目	大学基礎	STR		1 (0)	2	1	2,500	2,500	R5:メディア授業のみ	
	セルフディベロップメント科目	SDGs基礎	T		1						
	社会福祉系科目	医学概論	介● T	2							
		心理学と心理的支援	○ T	2							
		社会学と社会システム	○ T	2							
		社会福祉の原理と政策	介● T	4							
		社会福祉調査の基礎	● T	2							
		ソーシャルワークの基盤と専門職1	● T	2							
		ソーシャルワークの基盤と専門職2	● T	2							
		ソーシャルワークの理論と方法1	● T	4							
		ソーシャルワークの理論と方法2	● T	4							
		地域福祉と包括支援体制1	● T	2							
		高齢者福祉	介● T	2							
		障害者福祉	介● T	2							
		児童・家庭福祉	● T	2							
	社会福祉系科目	地域福祉と包括支援体制2	● T	2							
		福祉サービスの組織と経営	● T	2							
		社会保障	● T	4							
		貧困に対する支援	● T	2							
	実践系科目	保健医療と福祉	● T	2							
		ソーシャルワークの倫理と実践	STR		2 (1)	7	2	7,500			
	演習・実習系科目	ソーシャルワーク演習1	○ R		4						
		ソーシャルワーク演習2	○ SR		3 (2)	19	6	23,750			
ソーシャルワーク実習指導1		免2 ○ SR		3 (1)	10	5	12,500			免除	
ソーシャルワーク実習指導2		免2 ○ SR		2 (0)	未定	未定				免除	
ソーシャルワーク実習指導3		免2 ○ SR		1 (0)	未定	未定				免除	
ソーシャルワーク実習1		免1、免2 ○ S		1 (1)	8日(60時間)以上	32,000※9				免除	
ソーシャルワーク実習2		免2 ○ S		4 (4)	23日(180時間)以上	115,000※6				免除	

開講年次	科目区分	科目名	学習方法	単位数		スクーリング(予定)			メディア授業	備考
				必修	選択	コマ数	日数	受講料	受講料	
学科科目										
4年★	社会福祉系科目	権利擁護を支える法制度	○ T		2					
		刑事司法と福祉	○ ST		2 (1)	7	2	8,750		
	演習・実習系科目	ソーシャルワーク演習3	○ SR		3 (1)	3	1	3,750		
	セルフディベロプメント科目	SDGs発展	SR		2 (1)	7	2	7,500		※7
		アカデミック・ライティング	SR		2 (1)	7	2	7,500		
		キャリアコミュニケーション	ST		2 (1)	7	2	7,500		
		人間科学概論	ST		2 (1)	7	2	7,500		
	自己育成能力開発科目	医学概論(自己育成)	T		2					
		社会福祉の原理と政策(自己育成)	T		4					
		社会福祉調査の基礎(自己育成)	T		2					
		ソーシャルワークの基盤と専門職1(自己育成)	T		2					
		ソーシャルワークの基盤と専門職2(自己育成)	T		2					
		ソーシャルワークの理論と方法1(自己育成)	T		4					
		ソーシャルワークの理論と方法2(自己育成)	T		4					
		地域福祉と包括支援体制1(自己育成)	T		2					
		地域福祉と包括支援体制2(自己育成)	T		2					
		福祉サービスの組織と経営(自己育成)	T		2					
		社会保障(自己育成)	T		4					
		高齢者福祉(自己育成)	T		2					
		障害者福祉(自己育成)	T		2					
		児童・家庭福祉(自己育成)	T		2					
		貧困に対する支援(自己育成)	T		2					
		保健医療と福祉(自己育成)	T		2					
	実践系科目	社会福祉経営と社会経済 [隔年開講]	STR		2 (1)	7	2	7,500		R5:開講 R6:休講
		貧困と社会構造 [隔年開講]	STR		2 (1)	7	2	7,500		R5:開講 R6:休講
		スクールソーシャルワーク実践 [隔年開講]	STR		2 (1)	7	2	7,500		R5:休講 R6:開講
		子どもの社会的養護と家族支援 [隔年開講]	STR		2 (1)	7	2	7,500		R5:休講 R6:開講
	認定心理士科目	心理学概論	T		4					
		心理測定法	STR		4 (2)	14	4	15,000	15,000	学習方法選択
			TR		4					
		心理学実験実習1	R		2					
		学習心理学	T		4					
		発達心理学	T		4					
		臨床心理学	T		4					
		社会心理学	T		4					
		認知心理学	R		4					
		パーソナリティ心理学	T		4					
		教育心理学	ST		4 (2)	14	4	15,000	15,000	学習方法選択
			T		4					
		心理学実験実習2	SR		2 (1)	14	4	17,000※5		
	心理・仏教学系科目	精神医学	T		2					
		家族関係論	S		2 (2)				15,000	メディア授業のみ
		人間論	S		2 (2)				15,000	メディア授業のみ
		ヒンドゥーの文化と思想	S		2 (2)				15,000	メディア授業のみ
		実践仏教	S		2 (2)	14	4	20,500※1		
		坐禅研修	S		2 (2)	14	3	26,000※2		
		念仏研修	S		2 (2)	14	3	45,000※3		
	仏跡研修 [隔年開講]	S		4 (4)	—	6泊8日	30,000※4		R5:休講	
	生活仏教(日本仏教の諸宗派)	S		2 (2)	14	4	15,000			

※1 諸経費5,500円(坐禅のための坐布代金と写経のためのお手本と用紙代金)を含む

※2 諸経費11,000円(施設費等)を含む

※3 諸経費30,000円(宿泊・食事費等)を含む

※4 別途、諸経費(30万円程度)が必要

※5 諸経費2,000円(実験機器維持費)を含む

※6 実習委託費35,000円を含む

※7 「SDGs発展」を履修するには「SDGs基礎」を単位修得していることが必要です。同年度に両科目を履修可能ですが、「SDGs発展」のスクーリング受講前までに「SDGs基礎」の単位修得が必要です。

※8 精神保健福祉士養成課程における「ソーシャルワーク実習」及び介護福祉士養成課程における「介護実習」を履修し、当該資格を取得した者のみ対象。
(「精神保健福祉士援助実習」を履修して精神保健福祉士の有資格者となった場合は免除となります。)

※9 実習委託費12,000円を含む
(更新履歴)

2023年 5月 30日 カリキュラム表をアップロードしました。

2023年 8月 25日 カリキュラム表を更新しました。